

相互提案協働事業 報告書

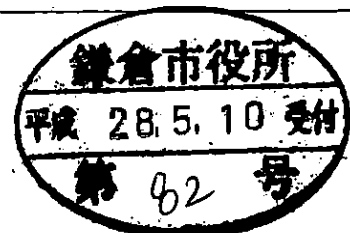
28年 4月 26日

(宛先) 鎌倉市長

住所
郵便番号
団体名 NPO 法人 ブーケの森
代表者氏名 天野 竹子

平成 27 年度事業報告会に先立ち、協働事業の実施状況・実施結果について、下記のとおり報告します。

事業名	ノーバディーズ・パーフェクトプログラムによる親育ち講座事業
事業概要	「完璧な親なんていない」という考えのもと、ファシリテーターと一緒に参加者同士が子育ての関心事を話し合うノーバディーズ パーフェクトプログラム (以下 NP という) による親育ち講座を実施する。 主に、未就学児童の親を対象。 参加者は 10 名程度を定員とする。 講座は、1 回当たり 2 時間程度、週 1 回全体で 6~8 回程度、毎回テーマを設定したセッションを行う。 母子分離で行う講座であるため、毎回託児を実施。
市担当課	こどもみらい部こども相談課
事業実施期間 (継続中の事業については、継続に○をつける)	継続 開始 2015 年 5 月 14 日～ 終了 2016 年 3 月 31 日
協働の形態	市提案協働事業



事業費	178,000 円
事業目的の達成 (継続中の事業については、現時点で判断する)	<p><達成できた点> 今回の事業のうち、5月～6月に実施したNP（母親対象）は募集人数を上回る応募があり、参加者自身が抱える育児や育児にかかわる様々な問題を共有し、共感し、各々が持つスキルを共有し、ストレスを解消し、自己を肯定し自信を回復する様子が見られ、10人以上のグループがほとんど全員、全回出席で、8回の講座を修了することが出来た。</p> <p><達成できなかった点> 父親の育児参加を応援し、虐待などの予防のため父親を対象として募集したが、応募者は4名、うち1名はキャンセルし3名の参加となった。</p>
成果・効果	<p>NPは、講師によって解決の方法を教えるのではなく、完璧な親も子もいないという考えのもと参加者が同じ子育て中の親グループの中で自分で自分に合った方法を学びとり、自己を肯定することが出来、自信を持ち、回を重ねるごとに参加者の表情があかるく、生き生きとし、穏やかになり、不安や苛立ち、孤立感を解消することが出来た。 父親対象の講座に於いても参加者曰く、最初どんなことをするのかという不安があったが参加して本当に良かった、自分の考え付かない方向から物考えることが出来た。先輩の意見が聞けた、と大変好評で役に立つことが出来た。</p>
課題・問題点 (解決・改善の方法についても記入)	<p>NPを実施するに当たり、母子分離で行うことが条件であるため、連続8回に亘り託児を頼む必要があり、NPO法人が単独で実施する場合に、所得の低い家庭においては託児費の負担が大きく、(3,000円～8,000円)参加のネックになっている。又虐待防止という点に於いてもその発生率が低所得者が高いところからも託児料の助成ないし無償化が必要と考える。 父親対象の講座に於いて参加者が少ないことは、父親の育休の取得が普及していないことや未だ育児従事への意識の低さ、母親の就労が本格化していない現状による母親任せ等、分析が必要であるが、子育てにおける父親の虐待は母親以上に深刻であることから父親へのアプローチは今後さらに重要であると考えます。</p>
今後の展望	<p>NPは現在各地に広がりを見せ(2月1日付朝日新聞に関連記事) その効果の認識が深まっているので、少人数対象で長期講座という効率的には低い活動であるが、問題点に深く取り組んでいく地に足の着いたプログラムであるので、今後とも地道に活動を続け、親子ともに幸福な家庭作りに貢献して行きたい。</p>

添付資料

協働事業決算書

協働事業決算書

NPFA NPO 法人 ブーケの会
代表 天野竹子

事業名 子育て支援講座 Nobody's Perfect Program 実施結果報告

	名 称	収入金額	支出金額	適 用
収入	市協働事業委託金	178,800 円		
収入	参加者負担金 (茶菓代)	9,000 円		
支出	人件費 (保育者謝礼)		88,000 円	@1,000×(71 人+17 人)
	人件費 (学生保育者謝礼)		11,200 円	@350×32 人
	人件費 (講師謝礼)		28,000 円	@1,000×2 人×(8+6)
	保険料 (子ども対象)		1,995 円	@21×(79 人+16 人)
	備品・テキスト代		20,688 円	テキスト、リーフレット
	消耗品費		22,966 円	模造紙、テープ、消毒液等
	印刷代		5,840 円	コピー用紙代含む
	茶菓代		9,111 円	
	合 計	187,800 円	187800 円	

収入合計 187,800 円

支出合計 187,800 円

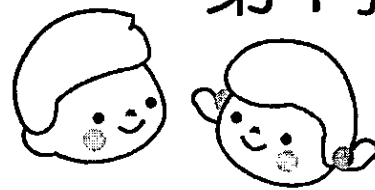
差 引 0 円

鎌倉市
開講

エンジョイ子育て応援講座

第1弾

完璧な親なんていない《全8回》



NP 講座 (育ママ講座) Nobody's perfect 参加者募集!

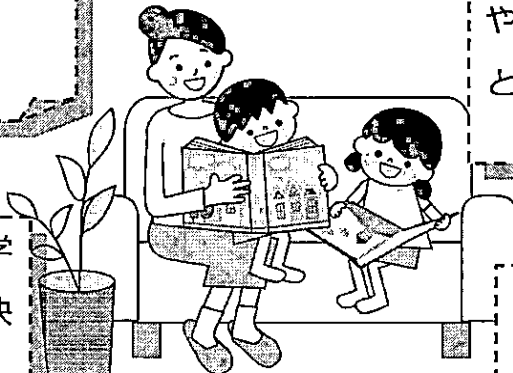
子育てや、日頃感じる身近なことを
親同士で話し合い、スッキリしませんか?

専門家による一方的な指導型
の講義ではありません。

参加者同士で子育ての悩み
や関心ごとを共有しあう
ところからスタートします。

プログラム独自の「経験学
習サイクル」によって解決
することを学びます。

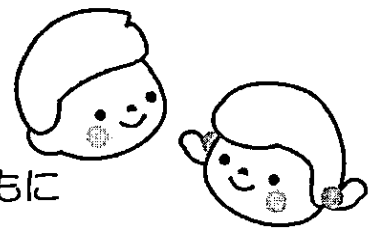
オーダーメイドの子育て法
を自分で見出します。



- 日 程 平成27年5月15日(金)・19日(火)・29日(金)
6月1日(月)・9日(火)・16日(火)・26日(金)・30日(火)
- 時 間 10:00~12:00 (受付 9:30) ※詳細は裏面をご覧ください
- 対 象 0歳~就学前までのお子さんをお持ちの母親
- 参加費 500円 (全8回のティーブレイク代)
- 進 行 NPJ認定ファシリテーター 天野竹子 楠本朋子
- 会 場 鎌倉市福祉センター (〒248-0012 鎌倉市御成町20番21号)
- 定 員 15名 (託児: 0歳から 申し込み制 定員あり)

◆お申込み方法◆ 子育て支援グループ ブーケの会 天野まで
Tel/Fax0467-43-2918 携帯Tel080-5870-2918
Email bouquet_kamakura@yahoo.co.jp
受付 《随時募集、多数申し込みの際は抽選となります。》

◆お問い合わせ◆ 鎌倉市こども相談課 Tel 0467-23-3000 内線2676



～NP 講座～ 子育てを あなたらしく 仲間とともに

ノーバディーズ・パーフェクト・プログラムは、毎週1回、合計8回の連続講座です。主な内容は以下の通りですが、各回の具体的な内容は参加者のニーズに合わせて行います。下記の一覧表は、過去の一例です。

第1回 5月15日(金)	出合いの会	・和やかな雰囲気の中で、お互いを知り合います。 ・話し合いたいテーマや関心ある事を皆でシェアし、次回からのテーマを決めます。
第2回 5月19日(火)	子育てを楽しむ (しつけ・行動)	・日頃の子育てを振り返り、NP独自の問題解決方法(経験学習サイクル)を用いた対処方を学びます。
第3回 5月29日(金)	リフレッシュ (自分を切り替える・行動)	・リフレッシュはどうしていますか。グループに分かれて話し合います。
第4回 6月1日(月)	参加者の当日のニーズより	・その時のライブなニーズを出して、経験学習サイクルをもとに話し合います。
第5回 6月9日(火)	パートナー(父親)	・パートナーへの気持ちをワークシートを用いて振り返ります。
第6回 6月16日(火)	自分(親)	・自分についてワークシート記入し、発表します。
第7回 6月26日(金)	兄弟関係・自分(こころ)	・兄弟関係のニーズを経験学習サイクルを使って話し合います。 ・自分についての年表を作ります。
第8回 6月30日(火)	終了式 茶話会	・ティータイムの中で、振り返りをします。 ・グループの今後の活動について話し合います。

このプログラムを体験された方々の感想です！

- ~~~~~
- ☆自身の振り返りができ、「完璧でなく、自分なりでいい」と思えるようになった。
 - ☆「話す」ことで気持ちが楽になり、「聴く」ことで新たな発見があった。
 - ☆自分の新たな一面を見つけることができ、親としての自信につながった。新鮮な気持ちで子どもと接することが出来るようになった。
 - ☆怒りの感情は誰にでもあるもの。それをどう表現するかが問題。
 - ☆問題がおきた時、他の方法はないか？行動の意味は？原因は何か？など冷静に考えるよう努力し、感情的になることが減った。
 - ☆託児したことが、子どもの成長にも親の成長にもつながった。
 - ☆自分を大切にすることを身をもって学べた。家族を大切にすることにつながった。
 - ☆すごくスッキリできた。
- ~~~~~

※鎌倉市では『平成27年度 エンジョイ子育て応援講座』を開講します。多くの親が地域とのつながりが持てず孤独な子育てをしているなか、自信が持てずに悩んでいます。この機会に是非、自分なりの子育てを仲間とともに学んでいきましょう。ご応募をお待ちしています。

鎌倉市
開講

エンジョイ子育て応援講座

完璧な親なんていない《全6回》

育メンパパ
集まれ!

NP講座 (育メン講座) Nobody's perfect 参加者募集!

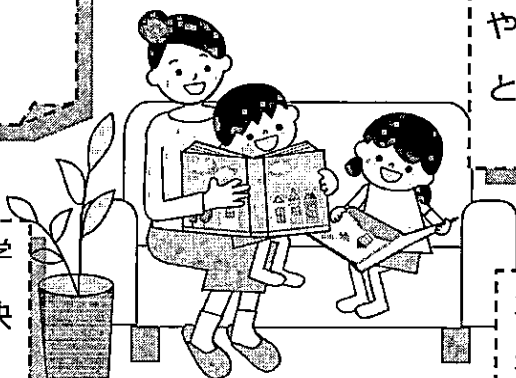
子育てや、日頃感じる身近なことを
親同士で話し合い、スッキリしませんか?

専門家による一方的な指導型
の講義ではありません。

参加者同士で子育ての悩み
や関心ごとを共有しあう
ところからスタートします。

プログラム独自の「経験学
習サイクル」によって解決
することを学びます。

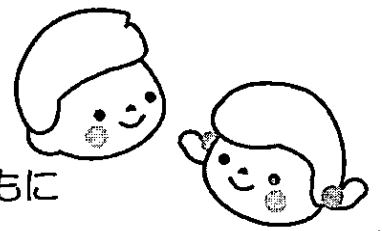
オーダーメイドの子育て法
を自分で見出します。



- 日 程 平成27年10月4日(日)・12日(月)・~~18日(日)~~・25日(日)
11月1日(日)・8日(日)・15日(日)・29日(日)
- 時 間 10:00~12:00 (受付 9:30) ※詳細は裏面をご覧ください
- 対 象 0歳~就学前までのお子さまをお持ちの父親
- 参加費 500円 (全6回のティーブレイク代)
- 進 行 NPJ認定ファシリテーター 2名
- 会 場 鎌倉市福祉センター (鎌倉市御成町20番21号)
- 定 員 10名 (託児: 0歳から 申し込み制 定員あり)

◆お申込み方法◆ 子育て支援グループ ブーケの会 天野まで
携帯080-5870-2918 又は TEL/Fax0467-43-2918
Email bouquet_kamakura@yahoo.co.jp
受付 《随時募集、多数申し込みの際は抽選となります。》

◆お問い合わせ◆ 鎌倉市こども相談課 TEL.0467-23-3000 内線2676



～NP 講座～ 子育てを あなたらしく 仲間とともに

ノーバディーズ・パーフェクト・プログラムは、毎週1回、合計6回の連続講座です。主な内容は以下の通りですが、各回の具体的な内容は参加者のニーズに合わせて行います。下記の一覧表は、過去の一例です。

第1回	出会いの会	・和やかな雰囲気の中で、お互いを知り合います。 ・話し合いたいテーマや関心ある事を皆でシェアし、次回からのテーマを決めます。
第2回	子育てを楽しむ (しつけ・行動)	・日頃の子育てを振り返り、NP独自の問題解決方法(経験学習サイクル)を用いた対処方を学びます。
第3回	子どもの安全、発達	・互いの情報を活かしあい、テキストなども参考にします。
第4回	ワークバランス、時間	・どのような時間のやりくりをしているのか、日常を振り返ってみます。
第5回	自分の心、パートナー	・パートナーへの気持ちを書き出し、自分の気持ちを整理します。 ・自分についての年表をつくります。
第6回	これからのこと、終了式	・これまでの変化について振り返りをします。

この講座を体験された方々の感想です！

- ~~~~~
- ☆自身の振り返りができ、「完璧でなく、自分なりでいい」と思えるようになった。
 - ☆「話す」ことで気持ちが楽になり、「聴く」ことで新たな発見があった。
 - ☆自分の新たな一面を見つけることができ、親としての自信につながった。新鮮な気持ちで子どもと接することが出来るようになった。
 - ☆怒りの感情は誰にでもあるもの。それをどう表現するかが問題。
 - ☆問題がおきた時、他の方法はないか？行動の意味は？原因は何か？など冷静に考えるよう努力し、感情的になることが減った。
 - ☆託児したことが、子どもの成長にも親の成長にもつながった。
 - ☆自分を大切にすることを身をもって学べた。家族を大切にすることにつながった。
 - ☆すごくスッキリできた。
- ~~~~~

※鎌倉市では『平成27年度 エンジョイ子育て応援講座』を開講しています。多くの親が地域とのつながりが持てず孤独な子育てをしているなか、自信が持てずに悩んでいます。この機会に是非、自分なりの子育てを仲間とともに学んでいきましょう。ご応募をお待ちしています。

子育て

seikatsu@asahi.com

月曜掲載

完璧な親なんていない

カナダ発の支援プログラム広がる

完璧な親はいない。こんな考え方を基本にした、カナダ生まれの親の支援プログラム「ノーパディーズ・パーフェクトプログラム」が広がっています。専門家が「正しい子育て」を教える育児情報が多い中、「正解」や「完璧」を求めない内容が、親の共感を呼んでいます。

プログラムは、0～6歳の子どもを持つ、孤立している親たちを支援するため、カナダ政府などが開発した。

日本では2002年に始



プログラムで、思いを話す参加者たち(さいたま市)

悩み 語って分かち合う

まった。10人程度のグループで毎週1回(約2時間)、6週以上続けるのが標準だ。自治体が主催するケースも多い。18年度には4都道府県で5千人超が参加するまでに広がっている。

1月下旬、さいたま市で主催のプログラムが開かれた。全6回の2回目。子どもを別室の保育士に預け、18人の母親が日頃の悩みを話し合った。

「子どもにイライラしてしまい、そういつ自分にもイライラする」「ささいなことでも夫にイライラする」「自分の自由な時間が少ない」次の段階では、「こうした様々な悩みの中から、親たちが、みんな話しかうテーマを「子どもへのイ

ライラ」「夫との関係」「自分の時間」の3つに絞った。今後の回で話し合う予定だ。

例えば、「子どもへのイライラ」をテーマにした場合、どういった状況でイライラしたかや、今後どうすれば良いかをみんなで考える。「こうしたらうまくいった」「なぜ、それぞれの経験も分かち合う。

養成講座を受けた進行役(フアシリテーター)がプログラムを進めるが、リーダではない。親が話しやすい雰囲気を作ったり、考えのサポートしたりする。

「無制限に体をしても良い」など、親同士の話し合いが、子どもにとって良い方向に向かった場合は、フアシリテーターが、テキストでは体罰について「効果よりも害のほうが大きい」と書かれていることなどを説明。親たちに「どう思うか」を尋ねる。

参加した藤田雅子さん(39)は、夫が仕事で帰りが遅く、生後8カ月の娘と2人きりの時間が多いという。「出かける場所があるだけでも助かる。自分だけで悩んでいるのではなく、他の人の話を聞いたことで、気持ちが楽になった」と話す。

プログラムの過去の参加者からは「悩んでいるのは自分だけではないと実感できた」「他の人の子育てを知ることが、視野が広がった」といった声があがっている。

さいたま市のプログラムでフアシリテーターを務めた佐野育子さん(59)は「日本には、『正しい育児方法』や『親はこうあるべきだ』といった情報があふれている。その通りにできないことで親が自分を責めたたり、子どもを責めてしまったりする場面がある」と指摘。「親も子どもも一人ひとりで違うので、子育ての正解は一つではない。子育ては失敗の連続で、失敗から学ぶことが大切だと知ることができた」(長富由香)

「ノーパディーズ・パーフェクト」テキストの抜粋

- 完璧な親もいなければ、完璧な子どももいません。私たちにできるのは最善をつくすことだけで、助けてもらうことも必要です。
- 自分のために何かをすることは、わがままなことではありません。自分を大切にできる時、親はいっそう子どもを大切にできます。
- すべてのことをいつも正しくできる人など、一人もいません。完璧を目指して、エネルギーを浪費しないでください。
- 人はものよりも大切です。子どもと一緒に遊ぶことは、家の掃除より重要です。

※テキストは全5冊のドメス出版刊と、1冊にまとめた、ひとなる書房刊がある

●保育園の帰りのママママに甘えて欲しい。「パパとママが生まれなかったら、ぼくはひとり暮らしになっちゃうんだ」(3歳)

(神奈川県厚木市 角田史哉・4歳)

●宿題を添えてから、5歳の弟と遊ぶこととして遊んだ。みあってみあって……はっはっは、かまっちゃったー、かまっちゃったー! (滋賀県米原市 加藤花季・8歳)

◆記事への感想や体験をお寄せ下さい。住所と電話番号、名前を添えて、〒104・8011朝日新聞文化くらし編集部「子育て」係へ。メールはseikatsu@asahi.com、FAXは03・5540・7354。

※複製はこちら(スマホのみ)▼

市民活動団体と鎌倉市による相互提案協働事業 評価シート

(27 年度)

事業名 : ノーバディズ・ パーフェクト・プログラムによる親育ち講座実施事業

担当課名 : こども相談課

市民活動団体名 : NPO 法人 ブーケの会

評価項目		役割担当		理 由	
		市民活動 団体	行政担当 課		
1	事業着手前	事業の協定書作成に当たり十分な話し合いができたか	○	○	
2		事業の協定書作成に当たり対等な立場で話し合いができたか	○	○	自由な議論を行った。
3		事業の協定書の内容は充分であったか	○	○	
4	事業実施過程	事業は当初の事業計画どおりに行われたか	○	○	
5		事業は対等な立場で進められたか	○	○	
6		事業は互いの特性や資源を活かしあいながら進められたか	○	○	実施主体は団体、広報活動は市と分け、効果的であった。
7		事業は課題認識、目的、プロセスを共有し協力して進められたか	○	○	
8		課題が出た時、話し合いの場が持て解決できたか	○	○	
9	事業実施結果	設定された目標（評価項目）は達成されたか	△	△	父親対象講座は最低参加希望人数 6 人のところ 3 人の参加であった。
1 0		予算の執行は予定通りであったか	○	○	
1 1		定められた役割分担は妥当であったか	○	○	
1 2		定められた役割分担は守られたか	○	○	
1 3		市民サービスは向上したか	△	△	対象者が限られている
1 4		市民と行政の協働事業は効果があったか	○	○	市単独での実施は困難なものである。

1 5	今後の事業展望	事業を実施した結果を踏まえ、将来的な視点も含めた総括 (相互協議のまとめ)	(まとめ) 少人数対象で長期講座という効率的には低い活動であるが、問題点に深く取り組んでいくプログラムであるので、今後とも地道に活動を続け、親子ともに幸福な家庭作りに貢献して行きたい。
-----	---------	--	---

各々の評価は 達成：○（10ポイント） まあまあ：△（5ポイント） 不達：×（1ポイント）

備考：理由等は、別紙で提出しても結構です。

鎌倉市 地域のつながり推進課 地域のつながり推進担当 電話 23-3000 内線 2582
--